



## 支援プログラム（児童発達支援）

|         |              |  |         |                 |         |
|---------|--------------|--|---------|-----------------|---------|
| 事業所名    |              | Bee Happy 児童発達支援・放課後等デイサービス  |         | 作成日 2025年 3月 1日 |         |
| 事業所理念   |              | Bee Happy児童発達支援・放課後等デイサービスは、人間的で倫理的かつ専門的な支援を通じて、子どもの総合的な発達を促進することを基本理念としています。当事業所では、利用児一人ひとりの個性やニーズ、発達のペースを尊重し、専門的かつ科学的な知識に基づいた適切な支援の提供に努めています。さらに、多職種連携と家族とのパートナーシップを重視し、専門職と保護者の協働が、子どもの成長とウェルビーイングの向上に不可欠であると認識しています。   |         |                 |         |
| 支援方針    |              | Bee Happy児童発達支援・放課後等デイサービスでは、利用児の総合的な発達の促進を目的とし、専門性および人間性の双方を重視した支援の提供を基本方針としています。当事業所では、言語聴覚士、心理士、心理教育専門職（心理教育士）、理学療法士等の専門職が連携し、多職種による包括的な支援体制を整えています。各専門職が相互に連携しながら、利用児一人ひとりの特性やニーズに応じた支援を実施しています。また、支援内容は個々の発達状況や課題に基づいて計画し、個別支援および集団活動等、状況に応じた形で実施しています。さらに、保護者への助言や支援を重視し、家庭との連携を図りながら、日常生活のさまざまな場面において子どもの発達を支えるための継続的な支援および具体的な支援方法の提供に努めています。  |         |                 |         |
| 営業時間    |              | 月曜日～土曜日 9:00～18:00   | 送迎実施の有無 |                 | （あり） なし |
| 支 援 内 容 |              |  |         |                 |         |
| 本人支援    | 健康・生活        | 健康および日常生活に関する支援については、AFLS (Assessment of Functional Living Skills) プロトコルを活用し、専門職が子ども一人ひとりの生活スキルを評価しながら、機能的な生活技能の習得を目的とした支援プログラムを実施しています。<br>未就学児を対象に、基本的な生活習慣の形成および自立に向けた基礎的スキルの習得を目的とした支援を行っています。具体的には、手洗い、玩具の片付け、援助要請行動、自身の持ち物の理解、簡単な日課への参加、基本的な要求や必要性の表出等、日常生活に必要なスキルの育成を図っています。活動は遊びの要素を取り入れながら実施し、視覚的支援、音楽、構造化されたルーティン等を活用しています。また、必要に応じて、絵カードやコミュニケーションボード等を用いた代替・拡大コミュニケーション（AAC）を併用しています。  |         |                 |         |
|         | 運動・感覚        | 運動および感覚の発達に関する支援については、固有受容感覚（プロプリオセプション）への刺激や、さまざまな感触および感覚体験の探索を取り入れた活動を通して実施しています。これらの活動は、感覚統合を促進し、子どもたちの身体認識の向上を目的としています。また、運動サーキットや日常生活動作を取り入れた活動を実施し、運動面および感覚面の発達を支援しています。これにより、協調運動、主体性および自立性の向上を図り、日常生活のさまざまな活動への適応力の向上につなげています。<br>未就学児を対象に、基本的な運動能力および身体感覚の発達を目的とした活動を実施しています。具体的には、簡単な運動サーキット（トンネルくぐり、マット登り、クッション上でのジャンプ等）、砂や米、粘土等を用いた感覚ボックスの探索活動、物を押す・引く等の遊び、ならびに泡や絵の具、各種素材の布等、異なる感触を体験する活動を行っています。これらの活動を通して、身体認識、バランス感覚、基礎的な運動協調の発達を促進しています。 |         |                 |         |
|         | 認知・行動        | 認知および行動の発達に関する支援については、応用行動分析（ABA: Applied Behavior Analysis）の原則に基づいた構造化された活動を通して実施しています。これらの支援では、注意力、記憶力、思考力、問題解決能力等の認知機能の発達を促すとともに、適応行動、自己調整、行動の整理、社会的スキルの向上を図っています。<br>未就学児を対象に、感覚遊び、知育玩具、はめ込み玩具、積み木、マッチング活動、絵カード、音楽、読み聞かせ、視覚教材等を活用し、注意力、模倣行動、初期の認知スキルや社会的スキルの発達を支援しています。また、本グループでは代替・拡大コミュニケーション（AAC）を取り入れ、絵カードやコミュニケーションボード、視覚的スケジュール等を活用しながら、子どもたちが自らの要求や選択、相互のやり取りを表出できるよう支援しています。   |         |                 |         |
|         | 言語・コミュニケーション | 言語およびコミュニケーションの発達に関する支援については、日常生活のさまざまな場面において機能的なコミュニケーションの拡充を目的とした構造化された活動を通して実施しています。支援内容には、言語理解および言語表出の促進、語彙の拡大、機能的コミュニケーションの発達、社会的相互作用スキルの向上等が含まれます。また、必要に応じて、絵カード、コミュニケーションボード、視覚的支援等の代替・拡大コミュニケーション（AAC）を活用しています。<br>未就学児を対象に、音声やジェスチャーの模倣、物の識別や名称理解、言語や絵カードを用いた要求行動、共同注意、簡単な指示への応答、歌や短い物語への参加等、初期のコミュニケーションスキルの発達を目的とした支援を行っています。また、必要に応じて、コミュニケーションカードや視覚的スケジュール等を活用し、子どもが自らの要求や選択を表出できるよう支援しています。   |         |                 |         |

|  |           |  |  |
|--|-----------|--|--|
|  | 人間関係・社会性  | 人間関係および社会性の発達に関する支援については、子ども同士の相互交流を促す構造化された活動を通して実施しています。これらの活動では、ルールの遵守や協力行動、社会的スキルの習得を目的とし、共有行動、順番を待つ行動、社会的相互作用の開始や維持、感情の認識および適切な表出等の発達を促しています。未就学児を対象に、友だちの近くで遊ぶ行動、玩具の共有、簡単な集団遊びへの参加、他児の行動の模倣、自身の名前を呼ばれた際の反応等、初期の社会的スキルの発達を目的とした支援を行っています。また、音楽活動（歌の輪）、支援者が関わる遊び、簡単な協力ゲーム等を通して、子ども同士の交流および関係形成を促しています。                                       |  |
|  | 家族支援      | 当事業所では、利用児の発達をより効果的に支えるため、保護者への支援を重視しています。子どもの発達状況や支援の進捗については、定期的なフィードバックを通して保護者と共有しています。また、保護者を対象とした講習会や説明会を実施し、子どもの発達や支援方法に関する理解を深める機会を提供しています。さらに、AFLS (Assessment of Functional Living Skills) 評価を活用し、日常生活スキルの発達状況や成長の過程について保護者と共有しています。加えて、必要に応じて各種支援制度や福祉サービスの利用方法に関する情報提供を行い、保護者が子どもにとって適切な支援を受けられるよう支援しています。                             | 移行支援については、子どもが利用しているさまざまな生活環境との連携を図りながら実施しています。具体的には、学校、幼稚園・保育園、課外活動先、その他の支援機関等と情報共有や連絡調整を行い、子どもの状況に応じた支援の継続性を確保しています。また、これらの関係機関の専門職と情報交換や助言を行いながら、子どもがそれぞれの環境に適応しやすくなるよう、支援方法の調整および共有を行っています。これらの取組を通して、子どもが環境の変化に円滑に適応できるよう、段階的で安心できる移行を支援するとともに、さまざまな生活場面における参加および成長の促進を図っています。  |
|  | 地域支援・地域連携 | 当事業所では、子どもたちが地域社会とのつながりを深め、多様な社会的経験を積むことができるよう、地域との連携を重視した活動を実施しています。具体的には、公園、動物園、プール、商業施設、プラネタリウム等の地域施設への外出活動を行い、子どもたちがさまざまな社会環境を体験できる機会を提供しています。これらの活動を通して、社会的スキルおよびコミュニケーション能力の発達を促すとともに、実生活場面における適応力の向上を図っています。また、これらの経験により、子どもたちの社会参加の拡充および自立性の向上を図るとともに、事業所で習得したスキルを日常生活のさまざまな場面へ一般化できるよう支援しています。  | 職員質の向上については、職員の専門性向上を目的として、継続的な研修および人材育成に取り組んでいます。具体的には、事業所内研修、専門的なスーパービジョン、外部研修への参加等を通して、職員の知識や技術の向上を図っています。また、職員の継続教育への参加を奨励し、大学院課程への進学や専門資格の取得、ABAに基づく言語支援 (Language in ABA) 等の専門的な研修や、児童発達分野に関する各種講座への参加を推進しています。これらの取組により、職員が最新の専門知識を継続的に習得できる環境を整え、科学的根拠に基づいた質の高い支援の提供に努めています。 |
|  | 主な行事等     | 当事業所では、年間を通してさまざまな行事や活動を実施し、子ども同士の交流や社会性の発達を促すとともに、子ども・保護者・職員のつながりを深める機会を重視しています。主な行事としては、フェスタ・ジュニーナ（ブラジルの伝統行事）、仮装パーティー、イースターイベント、子どもの日のお祝い、クリスマス会等があり、子どもたちが楽しみながら参加し、集団における交流や学びの機会を得られるよう取り組んでいます。これらの行事は、子どもたちが多様な体験を通して社会的交流を深め、楽しみながら学び成長する機会となっています。また、保護者を対象とした講習会や説明会を実施し、子どもの発達や支援方法に関する情報提供を行うことで、家庭との連携を深め、子どもの成長を共に支える体制の構築を図っています。 |  |